

サザエさん通り 構想

1. 「サザエさん通り」構想の策定

(1) 構想の目的

- ①故長谷川町子さんの足跡を残し末永く伝える。
- ②地域活性化のために「サザエさん通り」を活用する。
- ③上記目的のため、地域と行政の共働で取り組むまちづくりの具体的なビジョンを取りまとめる。

(2) 共働による策定

①「サザエさん通り」構想検討会の設置

顧問：長谷川町子美術館 館長 川口淳二氏

委員：地元自治協、企業、商店街、大学、行政代表 等

②まちづくりワークショップの開催 など

(3) 策定年月 平成 25 年 12 月

2. 「サザエさん通り」構想概要

(1) まちづくりの方向性

「まち全体がサザエさん一家」

～「サザエさん通り」を訪れる誰もがみんな家族のように生き生きとしたまち～

(2) ソフトのまちづくりの方針

○「サザエさん通り」で「遊ぶ」、「学ぶ」、「交わる」。

- ・「サザエさん通り」ウィークの設定
- ・ウォークラリー、講演会
- ・福岡タワー来場者などの通りへの誘導
- ・通りから商店街や史跡（元寇防塁など）への誘導 など

(3) ハードのまちづくりの方針

- ①通りのつながり感、シンボル性を高める。
- ②通りに「たまり」と「交流」スペースを作る。
- ③通りの魅力を面的に広げる。

- ・バナー設置、サインの展開、舗装や植栽で通りのつながり感を演出
- ・写真撮影スポットや花壇の整備
- ・西南学院大学キャンパスグランドデザインとの連携（たまり場の創出など）

3. 「サザエさん通り」構想の今後の進め方

(1) 推進体制 地域と行政が共働で推進

(2) 今後の取り組み

- ①通りのバナー、起終点の案内サインなどの検討、整備
- ②「サザエさん通り」ウィークの創設
「サザエさん通り」誕生の 5 月 27 日を含む 1 週間をウィークとして、通りの PR や関連イベントなどを集中して実施
- ③2016 年：サザエさん誕生 70 周年、西南学院 100 周年と連携したイベントイヤーに向けた継続的な取り組み
- ④漫画「サザエさん」ゆかりのシンボルの整備について検討、周囲と調和の取れた景観ルールづくりの検討など